

2023 年度

事業計画書

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター

(法人番号 9010405016615)

目次

2023 年度事業計画	1
1. 認定審査の質及び認定機関としての信頼性の維持向上	1
2. 認定事業の着実な実施	2
3. 認定の価値及びサービスの質の向上	2
4. 国際的な活動への参画	3

2023 年度事業計画

2023 年度は、当センター（以下「ISMS-AC」という）が新たに一般社団法人としてスタートしてから 6 年目の年度となる。

これまでの 5 年間においては、「我が国における情報分野のマネジメントシステムの適合性評価制度の信頼性（トラスト）を確保するため、国際規格で定められた公平性、独立性、透明性の原則の下で、効率的かつ有効な認定業務を実施する。」との方針に基づき、認定事業を実施して、着実に成果をあげてきた。

新型コロナウイルス感染症の拡大は収束しつつあり、With コロナという新たな段階へと向かっている。その間、ネットワークを活用した働き方が定着し、マネジメントシステムの認証審査においては遠隔審査の割合が大きく増加した。ISMS-AC においても、テレワーク並びに遠隔の認定審査を導入し、定常的に運用している。

この数年間、政府の主導によるデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の動きもあり、このような社会の変革を受けて、より一層情報マネジメントシステムへのニーズが高まっている。

他方、グローバルな活動を行っているマネジメントシステムの認証機関における海外の認定機関への集約化の動きも出ており、ISMS-AC としては、特に ISMS の認証機関に対する認定の件数を維持するための一層の努力が重要である。

上記を受けて、ISMS-AC の 2023 年度事業計画として、下記を定める。

1. 認定審査の質及び認定機関としての信頼性の維持向上

(1) 認定審査の質の維持向上

将来に亘って認定機関としての活動の質を維持・向上するために、新規要員の育成に注力する。また、月次の認定審査員研修を継続するとともに、外部研修への参加や専門家講師の招聘等によって、最新動向の把握や専門知識の習得に努める。

(2) 認定機関としての信頼の維持向上

認定機関に対する要求事項である ISO/IEC 17011 を遵守し、内部監査等で不適合や改善事項が検出された場合には、その原因を特定して適切に対処して、公平かつ客観性、一貫性のある認定事業の運営を推進する。

(3) 認定及び適合性評価に関する適切な情報発信及び問合せ対応

ISMS-AC が認定した認証機関の認証を取得した組織に関する情報が経済・社会で広く活用されるよう、認証機関から提出されたデータを基に登録組織データベースを更新し、ISMS-AC の Web サイトを通じて、認証取得組織に関する検索機能の公開を継続する。また、認証機関、認証取得組織、利害関係者等からの苦情・相談等を含めた問い合わせに適切に対応する。

2. 認定事業の着実な実施

(1) 国際規格に基づいた認定事業の実施

国際規格及び IAF（International Accreditation Forum：国際認定フォーラム）等の MD/ID 文書等で定められた基準に基づいて認定審査を適切に実施する。認定又は認証に係る規格の追加・変更に際しては、速やかに対応する。

2023 年度は、前年度に比べて認定審査の件数が多く予定されているため、特に立会審査を中心に認定審査の日程調整を計画的に進める。

(2) ISO/IEC 27001:2022 への認証機関の移行

ISO/IEC 27001:2022 への認証機関の移行の期限(2023 年 10 月 31 日)までに、ISMS-AC が認定しているすべての認証機関の移行が完了するように、移行確認に係る認定審査を計画的に実施する。

(3) デジタル活用を通じた業務の効率化

情報の共有並びにコミュニケーション及び遠隔審査のためのツールの評価及び改善を行い、業務の更なる効率化を図る。

3. 認定の価値及びサービスの質の向上

(1) 認定に基づく認証の普及拡大

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）による情報分野のマネジメントシステムに関する普及啓発活動との連携の下、認証取得組織及びその顧客等を対象に、認定に基づく認証の価値を示す広報活動に取り組む。また、認証取得組織の数が伸び悩んでいる ITSMS、BCMS 等の認定にかかる料金の値下げを行い、認証機関の負担を軽減し認定に基づく認証の件数の維持を図る。

(2) 認定へのニーズに基づく事業展開

情報マネジメントに関する認定事業全般に対する社会のニーズを把握して、現状で求められている認証に関する認定サービスの向上に努めると同時に、新たな認定事業の可能性を含む今後の事業展開に向けた調査・検討を実施する。

4. 国際的な活動への参画

IAF 及び APAC (Asia Pacific Accreditation Cooperation: アジア太平洋認定協力機構) の各種会合における、認定・認証の国際的な整合化を図るための認定基準及びガイダンスの作成に係る議論への参画、及びピアエバリュエーション活動への参加を通じて国際相互承認を推進する。また、IAF で運用されている CertSearch とのデータ連携について、日本マネジメントシステム認証機関協議会 (JACB)、公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB) 等との協力の下で、適切に対応する。

さらに、ISO/CASCO (Committee on conformity assessment : 適合性評価委員会) における規格開発・改訂作業に参加し、各国における認定・認証制度の一貫した運営のためのルール作りに貢献する。

これらの活動の成果を、広報活動の一環として発信することにより、ISMS-AC の認定機関としての存在価値を高める。

以上